

内倉真一郎 個展 『私の肖像』

- 会 期 2020年9月26日（土）～ 2020年11月7日（土）
■会 場 KANA KAWANISHI PHOTOGRAPHY
〒106-0031 東京都港区西麻布2-7-5 ハウス西麻布 5F | TEL: 03-5843-9128
■開 廊 水曜日～金曜日 13:00～20:00 | 土曜日 12:00～19:00（日・月・火・祝休廊）

▼オンライントークイベント

- ・日 時：2020年9月27日（日） 19:30～20:45（予定）
- ・場 所：YouTubeライブ配信（無料／どなたでも視聴いただけます）
- ・登壇者：内倉真一郎（写真家）× 姫野希美（赤々舎・代表）× 町口景（アートディレクター）
河西香奈（モデレーター／KANA KAWANISHI GALLERY ディレクター）

>>配信先URL<<

<https://youtu.be/42xKKqcmwIc>



from the series *My Portrait*

2019 | archival pigment print | © Shinichiro Uchikura, courtesy KANA KAWANISHI GALLERY

KANA KAWANISHI PHOTOGRAPHYは、写真集『私の肖像』（赤々舎）の刊行を記念し、2020年9月26日（土）より、内倉真一郎個展『私の肖像』を開催いたします。

■ 画像データのご依頼等は下記までご連絡下さい ■

黒い背景の前に立つのは、撮られることを職業としない、一般の人々。自然光の元で何百枚と連写撮影を重ねるなか、そんな彼らの得も言われぬ存在感が放たれる瞬間を、内倉は写真に捉えています。

被写体が人生を通し重ねてきた「既知の個性」を写真に投影することが良いポートレート写真の定義であるとすれば、本作はそれとは異なるのかも知れません。手法的には極めて王道的なポートレート写真でありながら、その一枚一枚には独特の質感が伴い、写真だけが捉えられる特有の「気配」を内に湛えながら、鑑賞者を不思議な世界へと惹き入れていきます。

本展では、プリントを鑑賞することでこそ体感できる、奥深い肖像写真の世界を繰り広げます。会期に合わせ刊行される写真集と合わせ、是非ご期待頂けましたら幸いです。



from the series *My Portrait*

2020 | archival pigment print

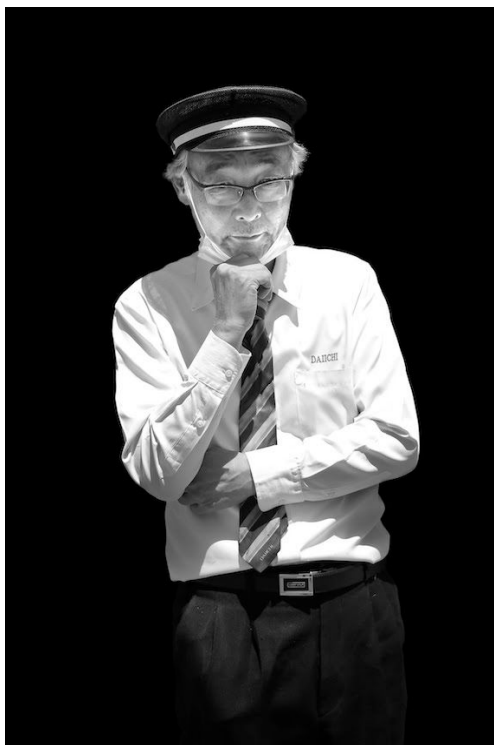
© Shinichiro Uchikura, courtesy KANA KAWANISHI GALLERY



from the series *My Portrait*

2020 | archival pigment print

© Shinichiro Uchikura, courtesy KANA KAWANISHI GALLERY



from the series *My Portrait*

2020 | archival pigment print

© Shinichiro Uchikura, courtesy KANA KAWANISHI GALLERY



from the series *My Portrait*

2020 | archival pigment print

© Shinichiro Uchikura, courtesy KANA KAWANISHI GALLERY



from the series *My Portrait*

2020 | archival pigment print

© Shinichiro Uchikura, courtesy KANA KAWANISHI GALLERY



from the series *My Portrait*

2020 | archival pigment print

© Shinichiro Uchikura, courtesy KANA KAWANISHI GALLERY

■ 画像データのご依頼等は下記までご連絡下さい ■

アーティストステートメント

「私の肖像」

私は写真館で働いている。

記念写真を撮り、その後、お客様にお願いをして作品を撮る。

あるいは、こちらから声をかけて撮影を行ったり、静かな場所でじっと人が来るのを待ち撮影する。

太陽光の下で黒いステージに立つあなた。

指示もしていないのにカメラ目線になったり、私に笑顔を見せたり、マスクを外したりする。

私は、約5分から10分の間に、500カットから1000カットの連写撮影を行う。

すると思ってもよらない、無意識の中にある表情が写真に現れてくる。

それは、肉眼では確認できないさげ出された表情、あるいは体の原始的な微妙な仕草。

私は撮り、選び、プリントする時に思うことがある。

大量のカット数の中から「あなた」をセレクトしていく過程では、

撮れた確信なるものが、その後のセレクトで消えることもあり、

撮れなかったかもしれない状態で、新たな「あなた」に出会うこともある。

もしかしたら誰しも、今の自分は絶対の存在ではなく、

無数の自分というものを秘めているのではないだろうか。

私は自己をレイヤーのように「あなた」に重ねる。

拡散され融合されたモノクロームから浮かび上がる「あなたと私」。

それは、一枚の写真となり、二度と出会うことのない未知の存在のようだ。

「私の肖像」は連写から生まれた彫刻のように、蓄積された「あなたと私」との愛の関わりである。

内倉真一郎

アーティストプロフィール

内倉 真一郎 (うちくら・しんいちろう)

1981年、宮崎県生まれ。日本写真映像専門学校(大阪)卒業後独立し、現在は宮崎県にて活動。主な個展に『十一月の星』(2018年、EMON PHOTO GALLERY、東京)、『犬の戦士団』・『十一月の星』(2018年、居藝廊 G.GALLERY、台湾・台北)、『PORTRAIT』(2017年、BLOOM GALLERY、大阪)など。主なグループ展に『第8回大理国際写真祭』(2019年、中国・大理)、『My Body, Your Body, Their Body』(2019年、KANA KAWANISHI GALLERY、東京)、『第2回寧波市国際写真祭』(2017年、中国・寧波)、『YP』(2017年、清里フォトアートミュージアム、山梨)など。

主な受賞歴に第41回キヤノン写真新世紀優秀賞(2018年澤田知子選)、第33回・34回・36回キヤノン写真新世紀佳作(2010年清水穰選、2011年大森克己選、2013年樫木野衣選)、第7回EMON AWARDグランプリ(2018年)他多数。作品集に『十一月の星』(2019年)、『Collection』(2019年)など。

2020年9月、新作『私の肖像』を赤々舎より刊行予定。

■ 画像データのご依頼等は下記までご連絡下さい ■